

今年も栃木県立真岡高校の生徒の皆さんが 訪問学習に来られました！

- 平成30年10月10日に、栃木県立真岡高校の2年生7名が、京都国道事務所に訪問学習に来られました。
- 田中事務所長による全体説明や京都西共同溝の現場をご案内しました。
- 最後に、若手職員との意見交換をおこないました。生徒の皆さんは、積極的に仕事内容について質問をしたり、体験談等の話を熱心に聞いていました。



(主な質問)

- ・仕事で一番大変だったのはどんな時ですか？
- ・この仕事でやりがいをどんな時に感じますか？
- ・管理している道路で起きたトラブルはどのように把握していますか？
- ・道路のメンテナンスは年に何回しますか？
- ・事業を計画してから、現場の着手までどのくらいの期間がかかっているのですか？

(主な感想)

- ・目先のことで無く、未来の安心・安全を考えることの大切さを学ぶことが出来ました。
- ・京都の景観を守るため電線共同溝で電柱を減らすことに力を入れていることが分かりました。
- ・日々学習している学問が社会の中でどのように活用されているか知ることが出来ました。
- ・今回の経験を将来の進路の決定や職業の選択に役立てたいです。

～生徒の皆さんの質問・感想～



～意見交換の様子～

- ・道路の整備や管理について、京都国道事務所にはいろいろな仕事があることを知ってくれて嬉しいです。
- ・土木に興味を持つきっかけとなって、将来の進路に役立てていただければと思います。
- ・皆さんの真剣に話を聞く姿を見て、自分たちも気を引き締めて、日々の業務を頑張りたいと思いました。



～若手職員の感想～